

入学者選抜についてのQ & A

Q. 1 調査書はどのように得点化されますか。

A. 1 推薦、分割前期、分割後期のすべての選抜において、「観点別学習状況の評価」を得点化します。観点別学習状況の評価（A、B、C）を次の表のように得点化し、全ての合計を調査書点の満点（推薦300点、分割前期及び分割後期400点）に合わせて換算します。

＜表 観点別学習状況の評価の活用方法＞

教科	国語			社会			数学			理科			音楽			美術			保健体育			技術・家庭			外国語(英語)			観点別学習状況の評価の得点の満点
	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III	
観点別学習状況	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
Aの得点	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	180
Bの得点	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	3	3	5	
Cの得点	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

Q. 2 「自己PRカード」はどのように書けばいいですか。

A. 2 「本校の期待する生徒の姿」をよく読んでから書いてください。本校の特徴をよく理解し、なぜ秋留台高校に入りたいのか考えてください。中学校生活の中で得たことについては、行ったことやその結果だけではなく、苦労したことや工夫したこと、努力したことについてもしっかり書いてください。また、高等学校卒業後については、将来の夢や目標、学びたいことや希望する職業などを書いてください。「自己PRカード」は点数化されませんが、面接や選抜の資料として用います。

Q. 3 面接での「自己PRスピーチ」では、どのようなことを話したらいいですか。

A. 3 推薦、分割前期、分割後期の全ての選抜の面接において、2分程度の「自己PRスピーチ」を行ってもらいます。次の＜自己PRスピーチの内容の例＞を参考に、自己PRしたいことを話してください。出願時に提出する「自己PRカード」に書いたことと同じでもかまいません。面接では、この「自己PRスピーチ」や「自己PRカード」の内容をもとに質問を行います。なお自己PRスピーチは、いすに座った状態で行います。資料等を用いたり、パフォーマンスを行ったりすることはできません。

＜自己PRスピーチの内容の例＞

- ・ 中学校時代にがんばったこと
- ・ 自分の長所
- ・ 高校入学後にやってみたいこと
- ・ 将来、つきたい職業

Q. 4 小論文はどのような内容ですか。

A. 4 課題文を読み、その内容に関連して自分の考えや意見を述べます。文章を正しく理解する力、自分の考えをきちんと相手に伝えられるように表現する力が重視されます。令和6年度は、検査時間50分間、字数制限600字でした。